

「アジアで取り残される危機」

『荒廃する日本—これでもいいのかジャパン・インフラ』刊行

足立敏之参院議員を中心とする『荒廃するアメリカ』になぞらえて施設の老朽化に警鐘をならしつづつ、激甚化する災害対応や国際競争力の観点からもインフラ投資の重要性を強調。国際比較など豊富なデータを基に、インフラ再生の指針を示す。

足立議員ら執筆

生の指針を示す。

著者の足立参院議員は、各主要国における都市間の連絡速度や港湾別のコンテナ取り扱い数の比較を基に、日本が他国に比べて劣後していることを説明。その上で、「この水準で概成していると言っていたら、アジアの国々に取り残

著書を手にする足立議員



『荒廃する日本』の中では年間8兆—8兆5000億円規模の公共事業関係費が必要となると結論付けており、「最前線で国土整備を担う建設企業が計画的に投資を行うためには中長期的な投資計画の策定が必要だ」と力を込めた。